

しあわせ

No. **84**

令和5・1・1

編集発行
(公社) 防府市シルバー人材センター
編集委員会

山口県防府市八王子2丁目8番9号 ☎0835-24-0600(代)・FAX0835-24-3348



会員作品展
(もみじ銀行防府支店)





新年の挨拶

本年もよろしくお願いたします



理事長
阿部 裕明

新年明けましておめでとうございいます。

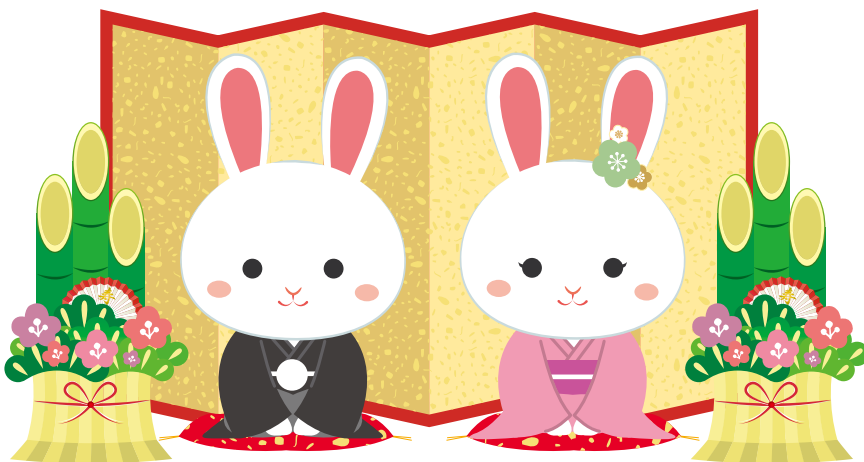
会員の皆様ならびに関係者各位におかれましては、心穏やかに輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年、国内外で異常と思われる出来事が頻発し、なかには未だその解決の見通しも見えない状況が続いています。また、この三年余りコロナウイルス感染症の拡大により、日々の行動に制限を受けるなど、不自由な生活を強いられました。しかし、徐々にではありますが、以前の生活を取り戻す流れの中、改めて感染予防の重要性が増してきています。

さて、シルバー人材センターの現状は、会員の減少と契約額の伸び悩み等厳しい状況は続いており、特に女性会員の減少は、喫緊の課題です。また、令和五年十月から、いよいよ「インボイス制度」が始まります。この制度は、シルバー人材センター事業にとって多大な影響を及ぼすこととなり、会員、事務局が一体となって対応していく必要があります。

近年「人生百年時代」と言われています。これからの長い時間をどう過ごすのかと考える時、ふと「人生下り坂最高！」と叫ぶ火野正平さんの思い出しました。確かに、私たちは今「下り坂」にいると抵抗もなく感じていますが「下り坂」があるならば「上り坂」があったはずなんです。いつ登り切ったのかな。まだ、登り切っていないのでは？などと思うと、もう一漕ぎすれば、新たな頂から違った景色が拝めるのではないかなと思ってしまう。是非、シルバー人材センターでもう一漕ぎしてみようではありませんか。

終わりに、皆様方のますますのご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とします。



新春

卯年にあたり、シルバー人材センターのますますの飛躍と会員の皆さまのご多幸をお祈りします。

役職員一同

華浦地区区代表者



齋藤 輝彦

入会したのは、平成三十年十二月十七日、競輪局で働いている

属さんの紹介により駐車場管理の仕事に就きました。

駐車場は、夏は暑く、冬は寒く、屋外の仕事になります。持ち場を離れることは難しく、トイレも急いで済ませます。前職は商品管理で、入出庫の仕事でしたので、あまり、暑さ寒さは、気になりませんでした。

競輪局は、公営ギャンブルです。ギャンブルだから、来場者は勝つ時もある、負ける時もあります。負けた時には、暴言を受けることもあります。しかし、私たちはシルバー人材センターの会員です。困った時や悩んだ時には、事務局が支えてくれます。そんな時、会員は、守られているのだとつくづく感じます。

まだ、仕事を始めて三年ちょっとですが、私ができる間はしたいと思っています。仲間と力を合わせて、今年も頑張ります。



西浦地区区代表者



松富 豊

会員となつて、十年が経ちました。最初の仕事は、スポーツセンターのプールの見守りでした。子供たちが、楽しく水遊びをするのを見るのはいいのですが、プール周りは暑くてたまりませんでした。夏休みの七月、八月だけの仕事でしたが、この仕事は、請負ではできないというので、その後はありませんでした。

そんな時、私は刈払機は持ってないので、草刈りの仕事はできませんが、担当の職員さんから「草寄せという仕事もありますよ」と聞いて、ガンゼキ一本持つて、現場にいこうになりました。

草寄せの仕事は、結構きつい作業です。刈払機で刈った草をごみ処理班が取りにくるので、山にして集めます。最初は、腕が痛くて自宅に戻っても、痺れていました。ただ、仕事は公共・民間・一般家庭と仕事がない月はほとんどなく、十二月になって途切れることはありませんでした。

大きな現場で、小さい山ばかりだと、ごみ処理班の会員さんが苦労します。できるだけ、積み易いように山を大きくして、積み込みが楽になればと心掛けています。草寄せは、華々しい仕事ではありませんが、なくてはならない職種だと思います。今からも頑張っていきたいと思っています。

新任地区代表者の今年の抱負

小野地区区代表者



坂田 和則

定年から二年後、これからどう過ごしていこうかと考えていた時期に、友人からシルバー人材センターで働いてみないかとお誘いがあり、入会しました。以前の間違い、サンライフの仕事はお客様への対応や帳票類の打込み、体育室の準備等、戸惑いの連続でした。

当初は自分に適した仕事なのかと考えた時期もありましたが、温かいスタッフの皆様のおかげで、最近では、お客様との会話も楽しいひと時となっています。今年、地区代表者へのお声があり、昨年四月から活動を行ってまいります。

シルバー人材センターの目的は、高齢者の就業機会の促進と地域社会への寄与と謳われています。そのためにも地域活動の参加や、一人でも多くの会員を募るために友人や知人への呼びかけを行っています。

まだまだ三年目ではありますが、引き続き、よろしく願いいたします。

富海地区区代表者



白井 信好

私がシルバーに入会して、早や六年が過ぎようとしています。

定年退職後、膝を患いサンライフのジムに通っている際に、シルバーのことを知り、剪定の仕事に就きました。最初はいろいろと私の不手際で、諸先輩方に迷惑をかけたことが、今では、自分で考え、行動し、完成まで、ある時は協力・協調し頑張っています。

お客様から「早いね」「綺麗になった」等々のお言葉をいただくよう、常に改善意識を持ち、スキルの向上に努めます。

また、シルバー人材センターの地区代表者の活動においては、会員の増強を重点目標に、一人でも多くの人がシルバーに入会し、自分の生きがいの充実を感じていただき、福祉の受け手から担い手に成長できるように微力ではございますが、皆様と一緒に頑張りたいと思います。

私は、今でもサンライフのジムにほとんど毎日通っています。自分の体力に合わせたトレーニングを続けることで、会員としての剪定業務がいつまでもできるように、頑張っています。本年度もよろしく願いいたします。



シルバー人材センター事業研修会開催

令和四年十月二十八日 於/サンライフ防府

令和四年度の「防府市シルバー人材センター事業研修会」をサンライフ防府の体育室で開催した。会員増強が目的なので、今回も市広報で募集をしたところ、会員六十三名、一般市民三名の参加をいただいた。

初めに、事務局から、シルバー人材センターの事業概要・仕組みについて、就業ビデオを視聴しながらの説明があった。

その後、うそ電話詐欺についての講話や江戸家小猫氏の講演があった。

午前中は、防府警察署の加藤和彦氏より「被害に遭わないために手口を知ろう！」と題した講話があり、何故騙されるのか、少しは



午前中の講話 (防府警察署)



午後の講演 (江戸家小猫さん)

わかったような気がした。午後からは、動物物まね芸で有名な江戸家小猫氏による「病に学んだ芸の道」と題した講演があった。小猫さんは、祖父が三代目猫八で、父は四代目猫八という動物物まね芸一家である。

再発を繰り返すネフローゼ症候群という病気と向き合いながら、物まねの芸の道を受け継いだ小猫さんですが、動物の物まねをたっぷり織り交ぜながら、病氣から学んだ生き方を語った。日本全国の動物園との繋がりから、動物イベントにも出演する機会も増えているそう。昔から動物好きな人に悪い人はいないと言うが、六十六歳という若さでなくなった父を超える物まね芸かなと感じた。

会場の皆さんも、ほっこりした一日だった。



「子育てサロン」だより

令和四年度も新型コロナウイルスの影響で「わいわいHOFUっ子」と「フリーマーケット」が中止となりました。天神銀座店の無料開放が出来なかったため、アーケードのイベントが十月二日に開催され、参加しました。久し振りの無料開放に、皆さんとても喜ばれました。

天神町銀座店は、近くのスパーの改築で、年度当初は利用者が減少しました。工事が終わると、待ちかねたように、お母さん方が来られ、サロンの重要性をつくづく感じました。

岡村店は、駐車場があるので、お母さん方には人気です。昨年からは月十四日だったのを、ほぼ毎日利用できるようになりました。



子育てサロン (天神町銀座店)



子育てサロン (岡村店)

「おいでませ」だより



交流サロン

「おいでませ」は令和四年度はコロナの影響もなく、利用者は減少することなく、順調でした。自分の都合の良い時間に気軽に来られ、同じ年代の方との憩いの場となっています。

センターでは、積極的な社会参加を支援しています。

「おいでませ」が取材

令和三年度は連合会の動画製作の取材対象となりましたが、今年も四月にフリーペーパー「ホップ」が取材に来られました。市民だけではなく「おいでませ」に興味を持っていてる人が多いことがわかりました。

頑張っています！

剪定班の班長として

久保 敏郎 (大道地区)

私は、二〇一八年十二月入会してから四年目となります。この四月から先輩のあとを受け、班長の役割を担うこととなりました。

シルバー人材センターの置かれている全般的な状況としては、法律により六十五歳までの雇用確保の面からは厳しい状況となっております。実際に剪定班の会員も六十五歳以上がほとんどとなっております。しかし、会員数も年々減少して

います。しかし、六十五歳以上の方にとっては、シルバー人材センターが高齢期の職業選択肢の一つになっていくことは間違いないことだと思えますし、独自の取組みにより会員数を増やしているセンターがあることも事実です。

ここで、剪定班の班長の仕事を大まかに紹介してみます。

- ・就業年月日や具体的内容について、顧客の希望を聞き取って調整します。
- ・これら就業情報を班員と共有し、



班員が安心して就業できるように環境を整えます。

・新入会員が入ってきた場合は、安全対策などの確かな指導や早期育成を目指した計画的な技術向上を図ります。

・新規顧客の受け入れやクレーム対応、剪定ごみの回収等、センター業務担当との連絡調整の窓口となります。

次に、班長の仕事をして感じたことを以下に書いてみます。

・顧客に直接接することで、個々の顧客の考え方や私たちがどう思われているのかなど、シルバー人材センターのおかれた状況が分かってきました。

・班員が止むを得ない事情で就業できなくなる場合もあり、他班からの応援を乞う場合など、人員確保に苦慮することがあります。

・他の班も会員の不足や高齢化が進んでいます。会員確保対策の重要性など、通り一遍の話はよく聞きますが、会員を含めた具体的で組織的な動きが遅れているのではないかと感じています。以上、思いつくままに書き留めましたが、私たち高齢者が社会参加できる大切な場をより良くすることができればと思っています。



年男 現役会員です 年女



三上美智子 (華浦地区)

平成十六年十月に夫二人で入会し、十八年が経過しました。入会当時は夫婦であることの特典はなかったのですが、今は夫婦で一人分の会費となりまして、ずいぶん助かっています。ただ、この年になって会員のままでいるのは、迷惑ではないかと思ひ、退会の意思を示しましたが、会員であることがセンターの役に立っていると考えを変え、私にできることはしようと思っています。

入会当時は、高齢者宅や病院の掃除に行っていました。ヘルパー二級の資格を取ったからは、入院患者さんのお世話や話相手になっていきます。いつかは私も他人のお世話になることがあるかもしれません。共助の精神は、生きていく上で大切です。これから頑張ります。



藤井 文好 (華城地区)

刈りの仕事をしています。夏の暑い日に、日除けもない屋外で、草を相手に悪戦苦闘。短い刈り易い草ばかりではなく、背丈ほどもある草は二段切り、三段切りもあり、時間がかかります。

二年前から、班長になりました。今までは、班長の指示で言う通りに現場に行って、仕事だけすれば済んでいましたが、班長の仕事は、班員にどうしたら効率よく仕事ができるのかを考えなくてはなりません。事務局との連携と発注者の要望を聞くことも大切なことだと思ひます。シルバーの名前が出てくることは、責任重大です。



令和4年度会員作品展 10月3日～10月31日 「もみじ銀行 防府支店」にて (広報委員会による設営準備)

事業普及啓発促進月間行事

会員作品展

防府市シルバー人材センター恒例の「会員作品展」が、十月三日から十月三十一日まで、戎町の「もみじ銀行防府支店」ロビーで開催された。(写真は表紙)

作品展には、絵画や書を始め、写真・手芸など会員二十四名から全三十五点のすばらしい作品が展示され、来られた方に好評だった。会員の就業以外の特技や趣味が活かされた作品展はシルバーのPRにも貢献した。

一日奉仕活動

毎年十月には、会員全員に呼びかけて、センター周辺の清掃活動を実施していたが、コロナで二年間役員だけの実施となった。

しかし、令和四年度は、全員に呼びかけて、実施した。百名足らずの少ない人数とはなりましたが、奉仕活動をする喜びがあったと感じた。



一日奉仕活動(準備体操をする会員)

フリーマーケット

西日本最大級の第二十四回愛情防府フリーマーケットが今年も中止となった。会員さんからフリーマーケット用の日用品や衣類・布をもらっているのので、フリーマーケット以外のイベントで販売している。

まだまだ、コロナの影響が収まらず、以前のような活動はできないが、機会があれば、参加したいと考えている。

サンライフ秋の音楽発表会&防府市創業・交流センターオープンイベント

十月一日と二日に、サンライフ秋の音楽発表会が開催され、当センターからも会員が物販の出店をした。また、デザインプラザも防府市創業・交流センターとしてオープンイベントが開催され、当センターも参加した。

併せて、総務運営委員会によるティッシュの配布も実施し、会場内を「会員募集中」の幟を持って、シルバー会員募集の宣伝を行った。



栄えある受賞

連合会定時総会

令和四年六月二十一日(火) 山口市の県土連ビルにおいて、山口県シルバー人材センター連合会の定時総会が開催され、当センターの白井監事が連合会会長表彰事業貢献役員として、また、防府市シルバー人材センターは全国シルバー人材センター事業協会(以下「全シ協」という。)から安全就業センター優良賞を受賞しました。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大予防のため、連合会の総会時の授与式はありませんでしたが、当センター理事長室で、連合会事務局長より、表彰状と記念品の授与がありました。全シ協の定時総会に出席しませんでしたでしたが、併せて連合会事務局長から表彰状の授与がありました。

全シ協

【安全就業センター優良賞を受賞】



右が浜田連合会会長



白井監事 平成二十六年五月 監事就任



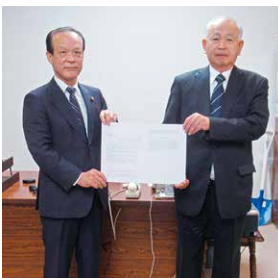
右から阿部理事長・白井監事

防府市長・防府市議会議長に要望書を提出

令和四年十一月十一日(金) 防府市長及び防府市議会議長に、補助金及び委託事業の確保等の要望書を提出しました。



写真は池田防府市長と理事長(左が池田市長)



写真は上田議長と理事長(左が上田議長)

シルバー文芸

老兵の戯言

一 三元号「昭和、平成、令和」生きて迎えし、米寿かな

二 人口が減っても減らぬ議員定数十増、十減、何のコツチャ

三 金「キン」というと金メダル金「カネ」と読めば、政治家夫婦のバラマキ

四 これからが、これまでを決める米寿かな

五 金よりも大切なものがある。されど、金なくしては生きていけない。

六 リタイヤは男に自由、女に不自由

八十八歳
M・H (華浦地区)

俳句

・見上げれば
枝に早贖 冬の朝

櫛の紅

紅葉に負けず あざやかさ
大浜 勇 (牟礼地区)

川柳

・目千両
マスクで みんな美人なる
幼児から
生徒に代わる 四月かな

三戸 ヨシエ (牟礼地区)
短歌・俳句・川柳など皆様の投稿を
お待ちしております。

会員のつづやき

待合室の四時間

片頭痛がひどく異変を感じたので、急いでかかりつけの病院に行った。受付を済ませて、待合室を見ると、コロナ対策で席は少なく、複数の患者が立っている。すると、私の前を疾風のごとく走り去る五歳くらいの男の子、すぐに戻ってくる。折り返し点があるのか、よく見ると椅子に座り、目を閉じ、足を伸ばしている青年がいた。これが折り返し地点。納得。母親は



スマホに夢中だ。

車椅子の二組がいた。一組は老婆と息子だらうか。

「親孝行したくないのに親がいる」のような顔で迷惑そうに時間を気にしている。

もう一組は九十歳くらいのお爺さん。付き添いは娘だらうか、なんとも優しく肩に手をのせ、話しかけており、実に微笑ましい。

看護師さんが呼んでいるのに、反応がない。その筈だ。二人の婦人が同窓会に参加したか



のように喋りまくっている。

私は、問診とCTを済ませたころ、ヤット席が空いた。隣は仄かな香りのお嬢さん、いくら待っても苦にならない。しかし、世の中甘くはない。待つほどなく、診察室に呼ばれた。

緊張して、医師の前で、第一声が「CT等々の結果、異状なく問題ありません。」

アーアー！四時間待つて加齢かな

※病院は、四時間待つだけの体力が必要ということでありませぬ。

M・H (華浦地区)



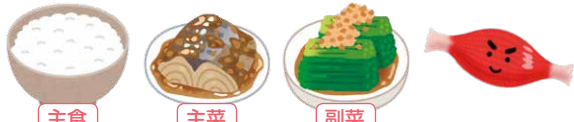
元気一番

～食べて動いて元気にフレイル予防～

フレイルとは…年をとって体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態を指します。そのまま放置すると、要介護状態になる可能性があります。フレイル予防のために、適切な食事や運動を心がけるとともに、趣味、ボランティア、就労など自分にあった活動を見つけ、元気に楽しく過ごしましょう！

○フレイル予防のための食事について

主食+主菜+副菜をそろえて、バランスのよい食事を心がけましょう！特に、主菜に多く含まれるたんぱく質は、筋肉をつくる大切な栄養素ですので意識して摂取するようにしましょう。



料理が大変な場合は、市販の総菜や缶詰、レトルト食品なども活用してみましょう！

○フレイル予防のための運動について

身体活動は、筋肉の発達だけではなく食欲や心の健康にも影響します。日常生活の中で活動量を増やすなどし、今より10分、体を多く動かすことから始めましょう。

例えば・

買い物に行くとき、車を遠くに停める。
テレビのコマーシャルの間に、軽い筋肉トレーニングやストレッチをする。



地域社会参加活動 行事 いろいろ

令和4年5月～11月



シルバー事業研修会
(シルバー事業の説明)



シルバー事業研修会
(手芸販売&喫茶コーナー)



会員による一斉清掃
(シルバー人材センター周辺の市街地)



シルバーフェスティバル



サンライフ秋の音楽発表会(会員手作品販売及びシルバーのPR)



防府市創業・交流センター
オープニングイベント

編集後記

もう一步

会員数	男	548名
	女	330名
	計	878名

契約金額 320,166千円

就業率 89.5%

(令和4年11月末現在)

- ◎ 令和四年に入り、コロナウイルスも下火になるかと期待しましたが、相変わらず猛威を奮っています。ただ、自粛規制が緩和され、人の行き来も活発になりました。
- ◎ シルバー事業研修会がサンライフで開催され、講師として、江戸家小猫さんをお呼びしました。事業研修会が開催されることにより、一人でも多くの方がシルバーに興味を持ってもらえればと願っています。
- ◎ 表紙は、毎年十月の普及啓発促進月間にもみじ銀行防府支店で開催された「会員作品展」です。会員には隠れた能力や特技を持つている方が沢山いらっしゃいます。また、銀行員さんも毎年楽しみにされています。シルバー人材センターも一般市民に喜ばれ、長く愛されますように。

広報委員会では、みなさんの原稿・作品をお待ちしています。(掲載・添削はおまかせください。)